

保育士を応援します 家賃・転入費の助成

市内の認可保育所などで働く保育士に対し、家賃や県外から市内への転入費を助成します。

●対象施設 市内の次の施設

◇私立認可保育所

◇認定こども園（保育所部分）

◇小規模保育事業所

家賃助成

●対象者 家賃助成事業を行って

いる対象施設に勤務し、本人名義で家賃を支払っている、

市内在住の保育士（正職員）

●補助額 月額最高1万2000円

（うち6分の1は対象施設が負担）

※補助金申請は対象施設が行います。（家賃助成を行っていない施設もあります。）詳しくは、各施設に問い合わせてください。

転入費助成

●対象者 次のいずれにも当てはまる保育士（正職員）

◇県外から市内に転入し、対象施設に就職する。

◇対象施設に、2年以上継続して勤務する見込みである。

●対象経費 ◇引越越しに係る費用

◇賃貸住宅仲介手数料 など

●補助額 最高25万円

●補助件数 15人（先着順）

●申請方法 申請書（市ホームページまたは申請先で配布）に必要な書類を添えて提出

※転入前に申請してください。

※必要書類など、詳しくは市ホームページを確認してください。

●申請期限 令和3年3月24日（水）

●申請と問い合わせ先

子育て支援課保育所・幼稚園担当
☎（580）1864



環境のこと もっと知りたい



環境アンケートから見えてくるもの③

環境に優しい取り組みの現状をまとめました。

リビング

◆不要な冷暖房をつけたままにしないようにしている。

市民73・3%、高校生57・7%

◆こまめに照明を消す。

市民83%、高校生67・4%

◆テレビをつけたままにしないようにしている。

市民42・4%、高校生34・2%

これら全ての項目で、前回（平成21年）調査に比べ、市民の実行している割合が下がっています。

特に冷暖房については、8・1ポイント減少しました。

台所

◆電気ポットを長時間使わない時にコンセントを抜く。 29・1%

◆冷蔵庫の扉の開閉時間を少なくする。 78・1%

いずれも前回調査に比べ、実行する人の割合が増加しました。

車

アイドリングストップやふんわりアクセル（急発進しない）をおおむね実行している人は50%を超え、前回よりも増加しています。

一方、「外出時に車を使わずに公共交通機関を利用する」という回答は18・6%に留まり、前回より2・4ポイント減りました。

これらは、家庭から排出される二酸化炭素の割合が大きい項目です。例えば、暖房の設定を22℃から20℃に下げただけで、1日1人あたり96gの二酸化炭素を削減できます。

調査の結果を、行動につなげてもらいたいと考えています。

今回は、「環境アンケートから見えるもの④」として、環境に優しい機器の設置の現状を掲載します。

次回、「環境アンケートから見えるもの④」として、環境に優しい機器の設置の現状を掲載します。

●問い合わせ先

環境・最終処分場対策課環境政策担当 ☎（580）1886